

NSW

NSW Inc.
Confidential and Proprietary

革新的施設管理
デジタルツインとZabbixが拡張
するモニタリングの未来

自己紹介



関根 大輔

Sekine daisuke

ZABBIX
CERTIFIED PROFESSIONAL

山梨 笛吹市で働いています
Zabbixは1.8から使ってます

〔仕事内容〕 運用設計、運用環境構築、テクニカルサポート

〔 趣味 〕 カメラ、ガジェット、zabbix

〔職場風景〕



社名	N S W 株式会社
理念	Humanware By Systemware
設立	1966年8月3日
資本金	55億円
売上	502億円（2024年3月期）
従業員数	2,428名（単独1,958名）

事業内容

クラウド・IoT・AI・ロボティクス等
最新技術へ対応

組み込み系開発

データセンター

システムインテグレーション

デバイス開発

ソフトウェア開発



ZABBIX

× デジタルツイン



こちらをご覧ください

デジタルツインとは



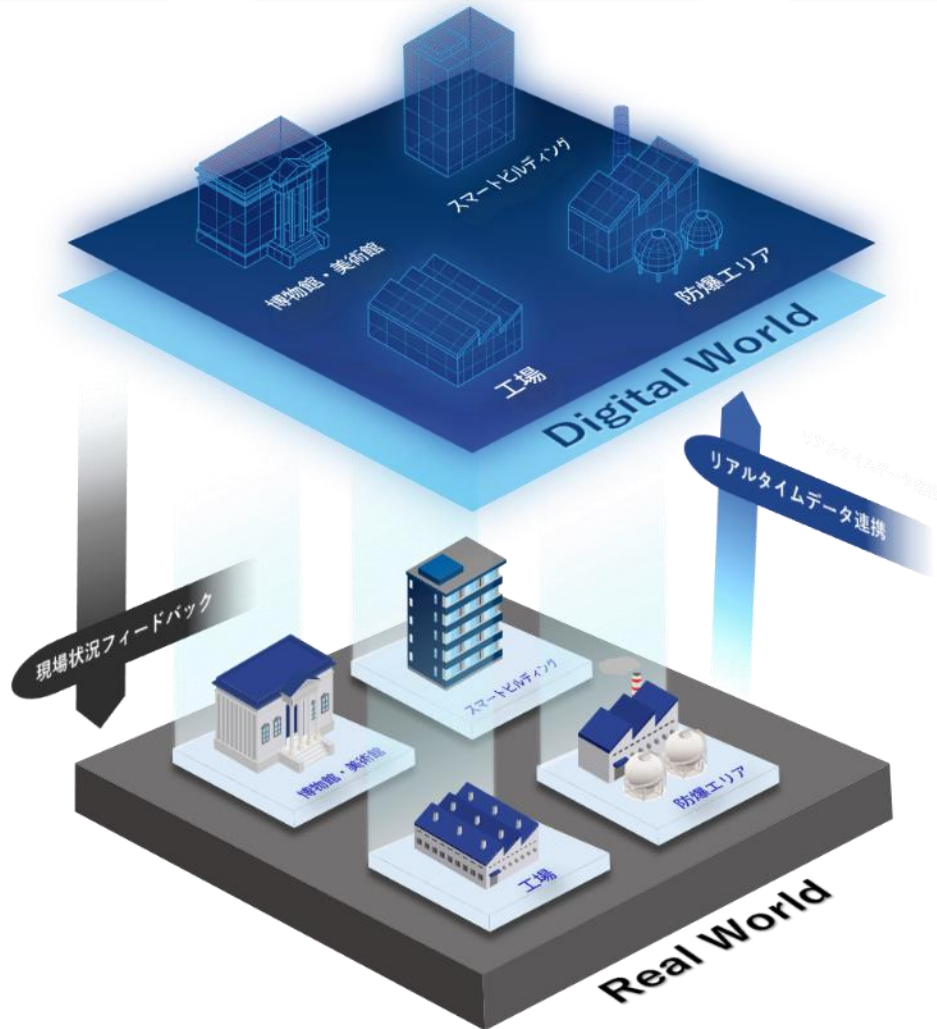
デジタルツインについて

設計計画

巡回点検

設備管理

メンテナンス



現実世界の空間や物理的な対象物のあらゆるデータを、3D空間データやIoTデータを用いて、仮想空間として再現をするテクノロジーのことです。

デジタルツインによって機器のステータス、稼働状況をリアルタイムで確認できると、遠隔地で仮想空間のデータを参照しながら、現場の作業員へ指示出しをすることが可能になります。





Digital Twin Monitoring Zeugma



プロダクト概要紹介



製造現場、ビル設備などでは、施設の**効率的な管理**と**省人化対策**が課題です。
現場へ駆けつけなくても、遠隔から現場の状態がリアルタイムで可視化ができるソリューション
ZeugMa(ジューグマ)。

IoTセンサーなどのデータを**ウォークスルー・3Dモデル連携**できる、設備管理に特化した
ソリューションサービスです。



対象業種・現場例



サービス画面

設備機器や環境から収集したデータをWEB画面上で仮想空間（3D上）含め確認できます。
機器のステータス、稼働状況をリアルタイムで一画面で確認、現場の作業員へ指示出しをすることが可能です。

IoTセンサーデータ表示



3D空間データ表示

サーバ監視・障害情報
ステータス表示
アラート表示

各拠点マッピング
拠点選択データ切替
複数拠点統合管理

機器稼働監視



3D空間データ表示・機能



3D空間ウォークスルー

3D空間の施設内を歩くように画面内で巡回でき機器の状況を確認できます。
異常機器の設置環境確認を行い現場に的確な指示が可能です。



IoTデータ表示

3D空間内でリアルタイムの現場機器データを確認できます。
プロットマークにマウスオーバーすることで機器の状況を確認、異常時はプロットマークを赤くすることで一目で異常機器を把握することが可能です。

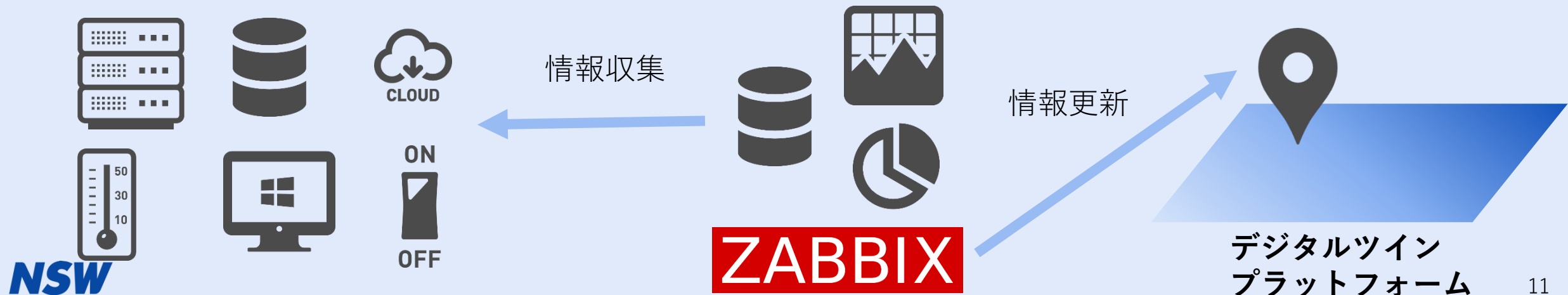
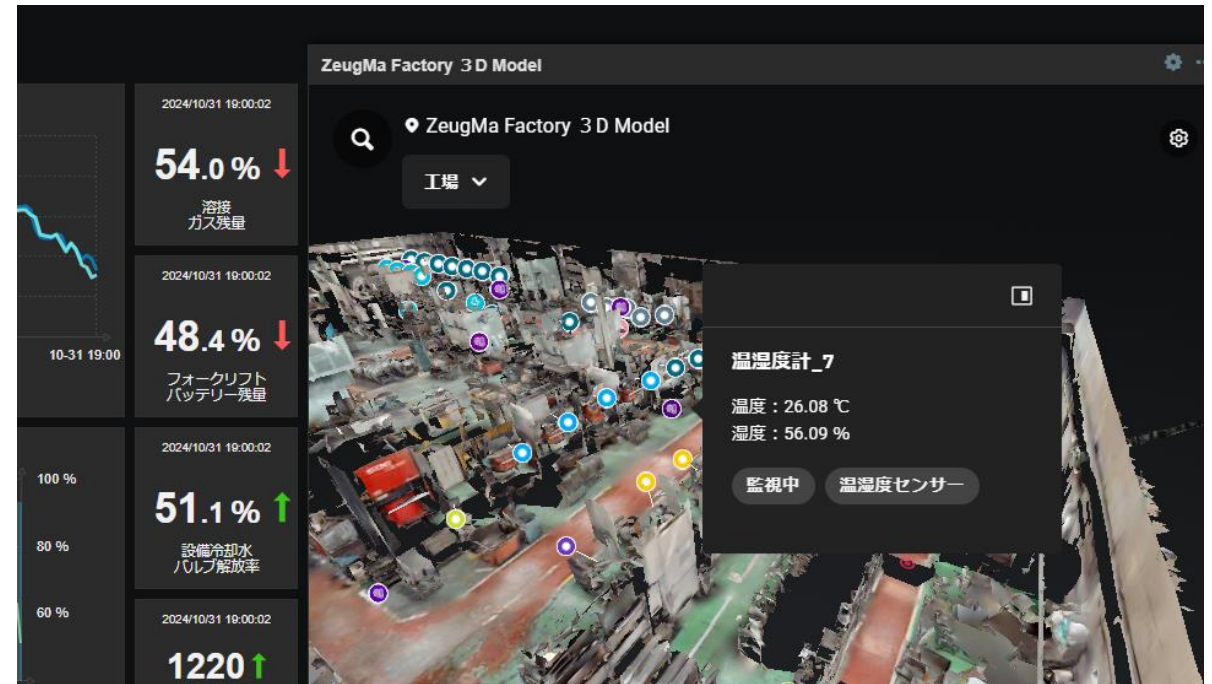


施設内測量機能

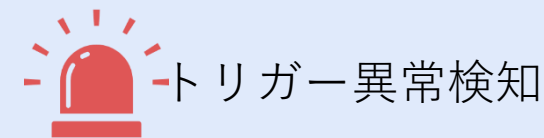
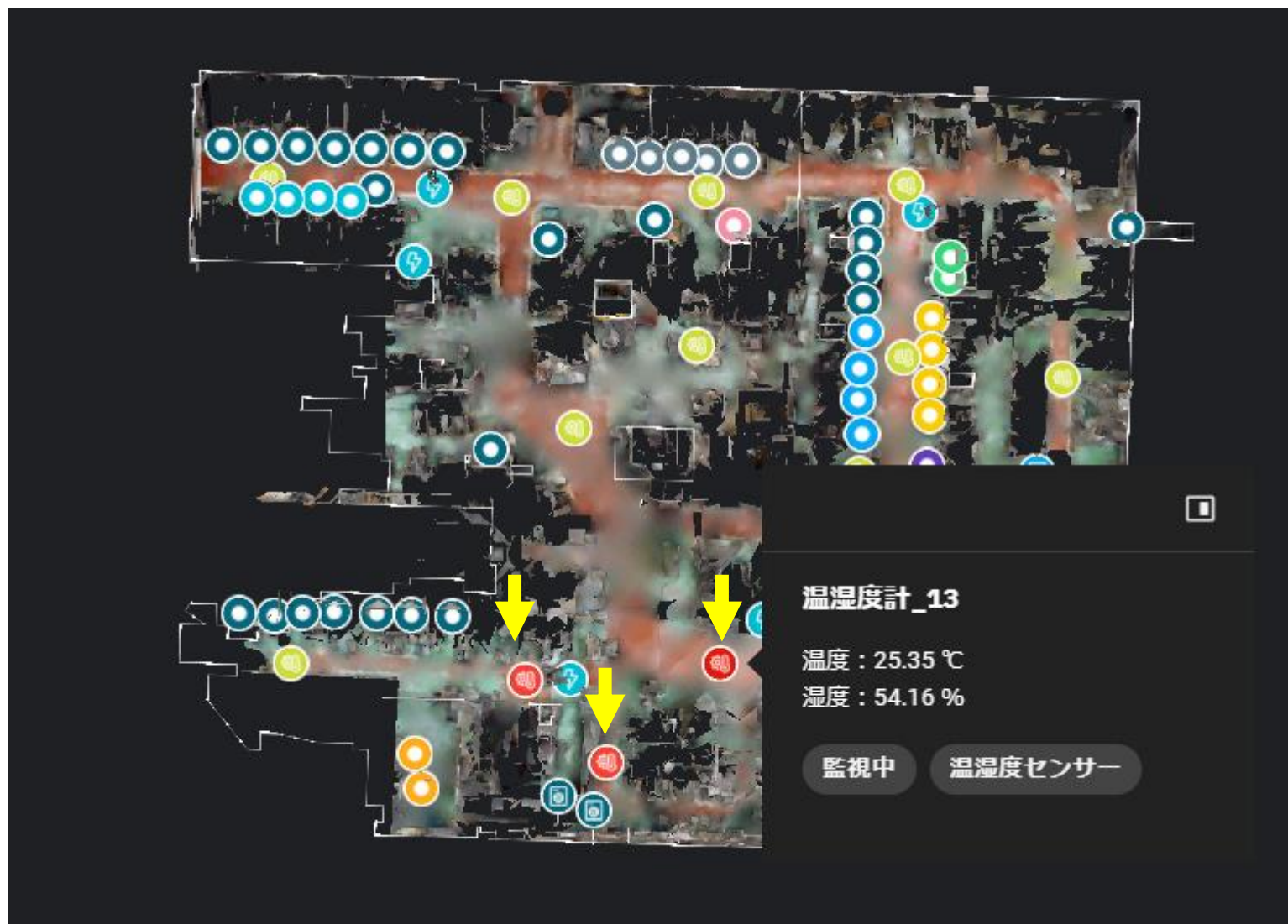
定期的なレイアウト変更時や重機、機器搬入時の寸法確認レイアウトシミュレーションが実際現場に行かずに3D空間内で可能です。
任意の場所の寸法データを表示させておくことも可能です。



Zabbixと仮想空間での相互データ連携



異常箇所を直感的に把握可能



トリガー異常検知

ZABBIX

マーカー色の変更
状態の更新



デジタルツイン
プラットフォーム

施設管理に革新を

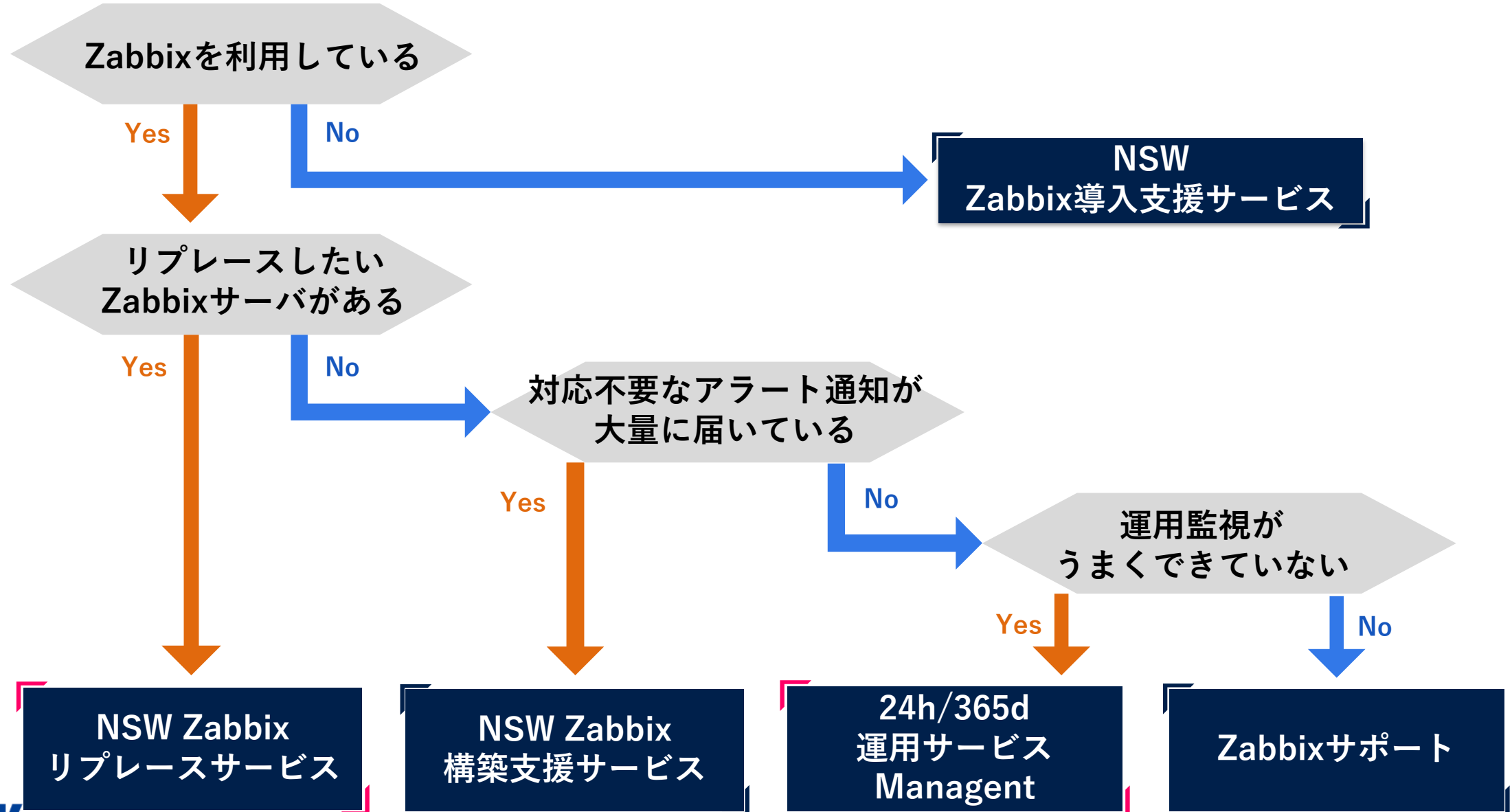
NSW

×

ZABBIX



かんたん切り分けNSWベストソリューション



NSW

“新たな社会”の実現に貢献する

New Sustainable World by Digital

お問い合わせはこちらから

